

履修モデル

高度な薬物治療の専門薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	病院の専門薬剤師
----------------	----------

高度な薬物治療の専門薬剤師をめざす学生には、医薬品の副作用情報の評価・管理に関する研究を取り扱うだけでなく、臨床試験結果や医薬品の市販後の有効性・安全性の評価と適正使用に関する教育研究活動を行う医療情報科学特論および同特殊研究Ⅰ～Ⅳを履修することが推奨されます。また、薬医薬品の薬理作用を再評価し、その適用拡大と副作用の抑制をめざす薬物治療科学特論の履修が最適です。同様に高度な薬物治療における指導的立場をめざし、医療チームを牽引するうえで、海外の先駆的な指導方法に触れることができる海外臨床研修を履修することを推奨します。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目
専修科目	<ul style="list-style-type: none">●医療情報科学特論●医療情報科学特殊研究Ⅰ●医療情報科学特殊研究Ⅱ●医療情報科学特殊研究Ⅲ●医療情報科学特殊研究Ⅳ
関連科目	<ul style="list-style-type: none">●薬物治療科学特論●海外臨床研修

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

健康増進・疾病予防を推進する公衆衛生に長けた薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	保健所の薬剤師
----------------	---------

地域健康増進・疾病予防に貢献できる薬剤師をめざす学生には、環境中に存在するさまざまな化学物質の人体への影響を研究し、細菌、真菌やウイルスなど感染症の原因となるさまざまな微生物の人体への影響に関する教育研究活動を行う環境衛生科学分野特論および同特殊研究Ⅰ～Ⅳを履修することが推奨されます。また、化学物質の生体への影響に関する情報を早く手に入れ評価することが重要と考えられるので、医療情報科学特論の履修が最適です。同様に情報は国内に限らず海外の情報にも気を配ることが重要なので、医療英語特論を履修することを推奨します。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目
専修科目	<ul style="list-style-type: none">●環境衛生科学特論●環境衛生科学特殊研究Ⅰ●環境衛生科学特殊研究Ⅱ●環境衛生科学特殊研究Ⅲ●環境衛生科学特殊研究Ⅳ
関連科目	<ul style="list-style-type: none">●医療情報科学特論●医療英語特論

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

医薬品開発技術を持つ研究者をめざす

想定される具体的な進路・職種	製薬企業の研究者
----------------	----------

製薬企業において製剤開発から薬物治療の最適化に貢献することをめざす学生には、薬物の体内動態を規定する生理的・生化学的要因を解明し、薬物の体内動態を制御するDDSや製剤技術の開発に関する教育研究活動を行う動態科学特論および同特殊研究Ⅰ～Ⅳを履修することが推奨されます。また、疾病特有の生体変化の生理学的・生化学的な評価ができる知識を持つことが有効と考えられるので、病態解析科学特論の履修が最適です。同様に薬物治療上の問題点を臨床現場において把握する機会を持つことも重要と考えられるので臨床薬学研修を履修することを推奨します。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目
専修科目	<ul style="list-style-type: none"> ●薬物動態科学特論 ●薬物動態科学特殊研究Ⅰ ●薬物動態科学特殊研究Ⅱ ●薬物動態科学特殊研究Ⅲ ●薬物動態科学特殊研究Ⅳ
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ●病態解析科学特論 ●臨床薬学研修

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。